

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-298571

(43)Date of publication of application : 29.10.1999

(51)Int.Cl.

H04M 1/00  
H04B 1/034

(21)Application number : 10-097618

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 09.04.1998

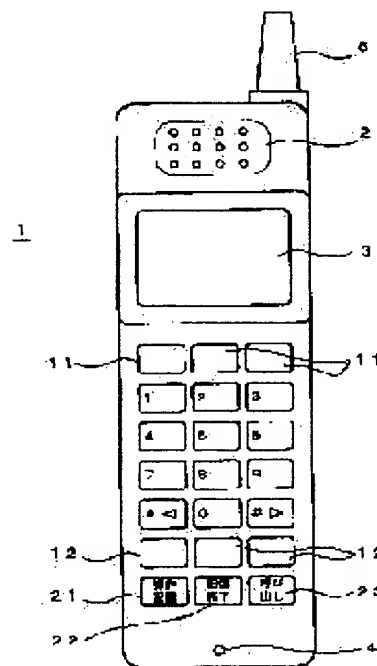
(72)Inventor : TAKAHASHI MASAHIRO

## (54) PORTABLE TELEPHONE SET

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To easily execute a desired function through a few key operations by storing a series of plural kinds of key operations and executing the stored series of key operations by operating a specified key.

**SOLUTION:** A portable telephone set 1 is provided with an operation storage mode capable of storing a series of plural kinds of key operations such as execution of a function (command) and input of numbers/characters, for example. Further, previously stored operations can be called by a single key operation. Concretely, an operation storage mode key 21 and a storage end key 22 are provided, and by pressing the operation storage mode key 21, the operation storage mode can be started. Besides, a call key 23 is provided and by pressing this call key 23, the stored operations can be called by a single key operation. Thus, key operation is simplified, time can be shortened and labor for operation can be saved.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than  
the examiner's decision of rejection or  
application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-298571

(43) 公開日 平成11年(1999)10月29日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

H 0 4 M 1/00

H 0 4 M 1/00

R

H 0 4 B 1/034

H 0 4 B 1/034

N

C

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平10-97618

(22) 出願日 平成10年(1998)4月9日

(71) 出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72) 発明者 高橋 正浩

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

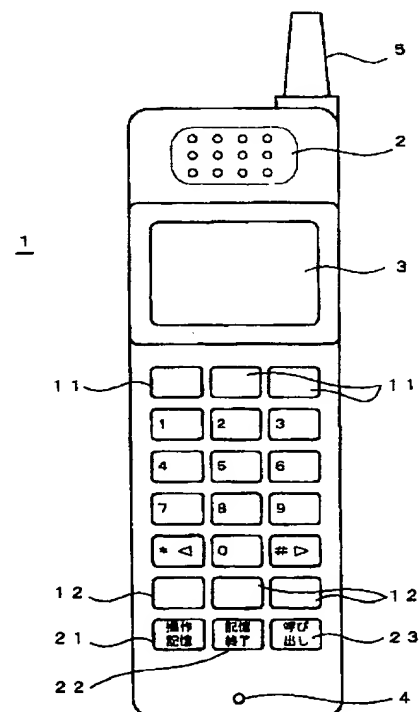
(74) 代理人 弁理士 松隈 秀盛

(54) 【発明の名称】 携帯電話機

(57) 【要約】

【課題】 所望の機能を少ないキー操作で容易に実行することができる携帯電話機を提供する

【解決手段】 複数の一連のキー操作に基づいて実行される機能を、1つのキー23に記憶させて、該キー23の操作により前記機能を実行させることを特徴とする携帯電話機1を構成する。



**【特許請求の範囲】**

**【請求項1】** 複数の一連のキー操作を記憶させて、特定のキーの操作により前記一連のキー操作を実行することを特徴とする携帯電話機。

**【発明の詳細な説明】****【0001】**

**【発明の属する技術分野】** 本発明は、液晶ディスプレイ、キーボタンを有し、システムに機能（ファンクション）コマンド操作を有する携帯電話機に係わる。

**【0002】**

**【従来の技術】** 液晶ディスプレイ、キーボタンを有する携帯電話機において、そのシステムに各種の機能（ファンクション）のコマンド操作を可能とするものがある。

**【0003】**

**【発明が解決しようとする課題】** このようなコマンド操作が可能な携帯電話機は、様々なコマンド操作が可能ることにより利便性を有しているが、所望の機能を発揮させるために複数回のキー入力を行う必要が生じることがある。

**【0004】** 機能によっては多くのキー入力を必要とし、その機能を使う度に多くのキー入力を行うこととなる。このように多くのキー入力を連続して用いることが頻繁にある場合には、その都度コマンド操作を入力するためにキーを連続して押さなければならない煩わしさがある。

**【0005】** 上述した問題の解決のために、本発明においては、所望の機能を少ないキー操作で容易に実行することができる携帯電話機を提供するものである。

**【0006】**

**【課題を解決するための手段】** 本発明の携帯電話機は、複数の一連のキー操作を記憶させて、特定のキーの操作により前記一連のキー操作を実行するものである。

**【0007】** 上述の本発明の構成によれば、特定のキーの操作により記憶した一連のキー操作を実行することにより、キー操作の回数を少なくすることができる。

**【0008】**

**【発明の実施の形態】** 本発明は、複数の一連のキー操作を記憶させて、特定のキーの操作により前記一連のキー操作を実行することを特徴とする携帯電話機である。

**【0009】** 図1は、本発明に係る携帯電話機の一実施の形態として携帯電話機の外観図を示す。この携帯電話機1は、通常の携帯電話機と同様に、電話機の主面に、上からスピーカ部2、液晶ディスプレイ3、番号キー（1、2、3、4、5、6、7、8、9、0）・記号キー（\*、#）、登録した電話番号の検索等に用いる矢印キー（\*キー及び#キーと兼用）、その他様々な機能（コマンド）を実行するためのコマンドキー11及び12、マイク部4がそれぞれ配置されている。また、上部には電波を受け取るアンテナ5が設けられている。

**【0010】** そして、本実施の形態の携帯電話機1は、

10

20

30

40

50

特に複数の一連のキー操作、例えば機能（コマンド）の実行や番号・文字の入力等の操作を、記憶することができる操作記憶モードを備えて成る。さらに、予め記憶しておいた操作を、1つのキー操作で呼び出しできるようにする。

**【0011】** 具体的には、例えば操作記憶モードキー21及び記憶終了キー22を設け、このうち操作記憶キー21を押すことにより、操作記憶モードに入るように構成する。また、記憶した操作は、呼び出しキー23を設け、この呼び出しキー23を押すことにより、1つのキー操作で呼び出しできるように構成する。

**【0012】** 即ち、例えば図2及び図3に示すような操作の流れにより、操作の記憶及び記憶した操作の呼び出しを行うことができる。

**【0013】** 操作の記憶は、例えば図2に示す流れに従って行われる。図2に示すように、まず操作記憶モードキー21を押して操作記憶モードに入る。次に、記憶したい操作と同一の操作、例えば第1のキー操作と第2のキー操作と第3のキー操作を順次行って、これら第1、第2及び第3のキー操作による機能を実行する。そして、最後に記憶終了キー22を押すことにより、操作記憶モードを終了すると共に、一連のキー操作をメモリに記憶する。

**【0014】** 一方、記憶した操作の呼び出しは、例えば図3に示す流れに従って行われる。図3に示すように、呼び出しキー23を押すことにより、先に記憶した一連のキー操作が呼び出され、このキー操作による機能が実行される。

**【0015】** 尚、それぞれのユーザーによって、実際によく使う機能は異なるが、各ユーザーがよく使う機能を簡便な操作により使用することが望ましい。そこで、上述のように、複数の一連のキー操作を記憶できる操作記憶モードを備えることにより、ユーザーがよく使う機能を実行するための一連のキー操作を操作記憶しておいて、記憶した操作を1つのキー操作（ワンタッチ）で呼び出して所望の機能の実行を行うことができる。

**【0016】** 上述のように記憶されたキー操作は、呼び出しキー23を1回押すことにより、即ちワンタッチで呼び出され、続いて記憶された操作が再生される。従って、キー操作を記憶した後は、記憶した操作を何回でも呼び出しキー23によりワンタッチで呼び出して再生することができる。

**【0017】** このよう一度記憶したキー操作は、消去しない限り電源を切っても保存され、何回でも呼び出すことができる。

**【0018】** 尚、再度キー操作の記憶を行った場合には、以前に記憶した内容は消去され、新しいキー操作を記憶する。即ち記憶内容が更新される。

**【0019】** 上述の実施の形態の携帯電話によれば、ユーザーそれぞれがよく使用する機能或いは番号入力等キ

一操作を、1つのキー操作で呼び出すことができるため、操作の時間短縮と手間を省くことができる。また、キー操作の数が少なくなるため、押し間違いにより所望の操作ができない場合の発生率が低減される。

【0020】上述の実施の形態では、キー操作の記憶に用いるキーを、操作記憶モードキー21と記憶終了キー22と呼び出しキー23と3つ設けた例であったが、その他の構成とすることもできる。

【0021】例えば1つのキー、例えば操作記憶キーで操作記憶及び呼び出しの全てを行うように構成してもよい。

【0022】呼び出しキー23は、他のキーで兼用してもよいが、ワンタッチで機能を行うためには、記憶した操作を呼び出すキーが独立して設けられた方が好ましい。

【0023】また、例えば回転と押圧により検索や選択を行う、いわゆるジョグダイヤルや、矢印マークの付されたキー等カーソル移動のキーを設けて、これらを用いて例えば図4A及び図4Bに示すように、液晶ディスプレイの画面上で、矢印や網掛け（又は反転）を移動させ、「ソウサキオク（操作記憶）」を選択する動作を行うことによって、キー操作の記憶を行うように構成してもよい。尚、図4Cに示すように、液晶ディスプレイの画面上で、数字の1、2、・・・と表示して、選択は数字キー（番号キー）1～0を用いて行ってもよい。

【0024】ただし、このように選択を行う場合でも、呼び出しの際の煩わしさをなくすために、呼び出しキーはジョグダイヤルやカーソル移動のキー等とは別に設けて、呼び出しキーによりワンタッチで記憶した操作の呼

び出しを行えるようにした方がよい。

【0025】また、上述の実施の形態では、記憶できる数を1つとして説明したが、複数記憶して複数の呼び出しキーを使用するように構成してもよい。

【0026】本発明の携帯電話機は、上述の実施の形態に限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲でその他様々な構成が取り得る。

【0027】

【発明の効果】上述の本発明による携帯電話によれば、複数の一連のキー操作に基づいて実行される機能を、特定の1つのキーに記憶させる機能を有して成ることにより、各ユーザーの使用状況に合うように、機能、操作のある1つのキー操作により一発で呼び出すことができるため、容易に所望の操作を行うことができる。従って、キー操作を簡便化し、時間短縮と操作の手間を省く効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る携帯電話機の主面を示した平面図である。

20 【図2】操作の記憶の流れを説明する図である。

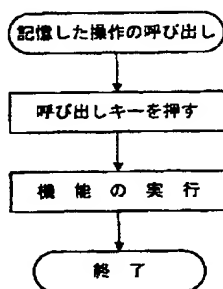
【図3】記憶した操作の呼び出しの流れを説明する図である。

【図4】A～C 液晶ディスプレイ上で操作記憶を選択する場合を説明する図である。

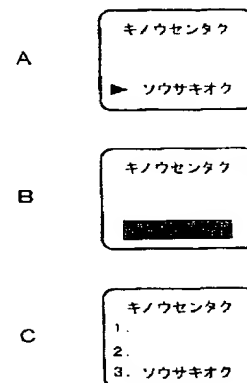
【符号の説明】

1 携帯電話機、2 スピーカー部、3 液晶ディスプレイ、4 マイク部、5 アンテナ、11、12 コマンドキー、21 操作記憶モードキー、22 記憶終了キー、23 呼び出しキー

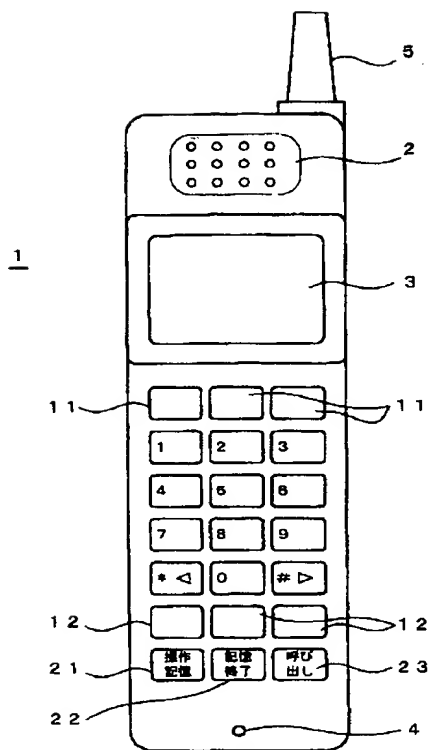
【図3】



【図4】



【図1】



【図2】

